

平成23年度 緑区社会福祉協議会事業計画

＜基本方針＞ 地域の声に耳を傾け、地域とともに歩む

少子高齢化や昨今の厳しい経済状況のような急激な社会情勢の変化の中で、「孤独死」という言葉に表されるような地域における人間関係の希薄化に対する危機感が指摘される中、住み慣れた地域での安全で安心な暮らしへの期待がますます高まっています。

緑区では、そのようなニーズに対応していくために、平成22年度に地域の多くの皆さまがかかわって策定された「地区別計画」と、区役所、区社協、地域ケアプラザが地域と協働し取り組む「区計画」とで構成された、第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン（平成23～27年度）」が策定されました。

本年度の緑区社会福祉協議会では、第2期計画の推進を中心に、様々な地域課題を解決していくために、基本方針にそって以下の事業に取り組んでまいります。

＜重点項目＞

1 第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進

関係機関と連携して、第2期みどりのわ・ささえ愛プランを推進します。

2 地区社協を中心とした地域活動支援の充実

地区担当制を継続し、地域の中で生じる課題の解決に向けて、地区社協を中心とする地域の皆さまとともに取り組みます。

3 地域のニーズの把握とニーズにもとづいた事業の展開

福祉保健活動拠点利用者や事業参加者等を対象にしたアンケートを行うとともに、各分科会の活動を通じて地域のニーズを把握し、事業への反映を検討します。

4 個別支援や地域支援にもとづいた相談機能の充実

ボランティア相談や個別支援事業等を通じて得られる情報を、地域の関係者や社会福祉施設等の関係機関につなげていきます。

5 助成事業の見直しと効率的な運営

緑いきいき助成金や年末たすけあい団体配分事業、善意銀行配分のあり方を見直し、総合的な助成制度の設立を検討することにより効率的な運営を目指します。